

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第2回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	高 田 豊 繁	1 「タクシー利用券助成制度」の創設について	(1) 公共バス等の利用ができない地域の住民、免許がなく車両を運転できない高齢者等の交通弱者に対する「タクシー利用券助成制度」の創設計画はどうなっているか。	町 長
		2 農業用廃ビニール処理の適正化について	(1) 営農活動に伴う農業用廃ビニール処理については、町が受け付けて島外へ搬出する方法が最も安価で適正な処理方法だと思われるが、その考えはないか。	町 長
		3 課設置の再編について	(1) 現在の町民福祉課は、分掌事務が膨大であり、町民課と福祉課に再編し執務の効率化を図るとともに、産業振興課は、農業委員会を含めた産業課と耕地課に再編し、よりフットワークが軽い行政サービス態勢を構築する必要があると痛感されるが、その考えはないか。	町 長
		4 公衆便所の設置について	(1) マラソンコースに隣接しているハキビナ墓地や船倉墓地には、観光客や墓参者の利用、墓地管理の面からも公衆便所の設置が必要であると思われるが、その考えはないか。	町 長
		5 いじめ防止対策について	(1) 島の宝である子供たちの学校内いじめ防止対策について、教育長はどのような手立てを行っているか。	教 育 長
2	沖 野 一 雄	1 町内産業の振興に係る人手不足対策について	(1) 近年、町内経済の好転化を受けて町民所得が伸びてきている一方で、産業振興を支える農業や商工業・サービス業等の現場において、人手不足を訴える声が高まりつつある。この雇用の確保問題については、今後の産業経済の発展を図る上で解決すべき重要かつ喫緊の課題と考えるが、町長は現状をどのように認識し、今後の具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		2 「シルバー人材センター等」の設置について	(1) 平均寿命の伸びとともに元気な高齢者が増えつつある中、雇用及び人材の確保をめぐる需要と供給のニーズ対策として、「シルバー人材センター等」の組織活用が期待される所であり、その設置については機が熟し	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第2回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			ていると考えるが、町長はどのように認識し、どう取り組んでいく考えであるか。	
3	林 敏 治	1 「食育・地産地消」の推進について	(1) 先日、県において「食育・地産地消」を推進する平成30年度かごしまの“食”交流推進会議が行われた。本町においても健康で豊かな食生活の実現に向けた推進体制を整備して「食育・地産地消」に取り組む考えはないか。	町 長
		2 農業振興対策について	(1) かんがい施設の整備が遅れている古里地区などに畑かんの整備を行い、干害対策や営農生産性の向上に積極的に取り組む考えはないか。	町 長
		3 ごみ処理対策について	(1) 新ごみ焼却処理施設が稼働し、ごみの有料化や分別回収が行われている。今後、ごみステーションの適切な管理や徹底した分別指導を行い、ごみの減量化や生ごみ対策などを積極的に推進していく必要があると痛感されるが、町長はどう進めていく考えであるか。	町 長
4	遠 山 勝 也	1 持続可能な営農対策について	(1) 本町の輸送野菜の主力作物である里芋、インゲン、ゴーヤの生産若手農家の定着率が低いのは、規模拡大のための借り入れ制度や人手不足解消のための環境整備が整っておらず、将来の農業経営像が描きにくいためではないかと考えるが、町長はどのように認識し、対策をどう講じていく考えであるか。 (2) 輸送野菜の規格外品を加工販売することで、特産品の開発や雇用の確保、生産拡大にもつながると考えるが、このことについて、指導、推進を図る考えはないか。	町 長 町 長
		2 さとうきびの灌水対策について	(1) 近年頻繁に発生している干ばつ対策において、現在、灌水車と人手が不足しているという声があるが、対策を講じる考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第2回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
5	川 村 武 俊	1 障がい児の支援体制について	(1) 与論町特別支援教育保護者会から長期間や連休など、こども園や養育センターが休みの時に障がい児を預けられる施設等の要望が出されているが、その対策はどうなっているか。また、障がい児を成長後も持続して支援できる施設等の整備体制が求められているが、どのように対策を講じる考えであるか。	町 長
		2 町立こども園の行事について	(1) 町立3こども園の運動会等の行事は同時開催となっている。複数の孫がいる祖父母から、行事の合同(一元化)開催や開催日時をずらせないかとの声があるが、検討する考えはないか。	町 長
		3 外来種動物等の対策について	(1) 以前からキジやカラス等の対策をしてほしいとの要望が出されているが、その対策はどうなっているか。 (2) 野犬の数が増えつつあり、人的被害のおそれもあるが、その対策はどうなっているか。	町 長
		4 山羊の生産振興について	(1) 昨今、沖縄の山羊需要の拡大により本町でも山羊の飼養頭数が増えている。新たな振興策として山羊の生産拡大に取り組む考えはないか。 (2) 山羊も牛と同様、口蹄疫に感染するおそれがあり徹底した予防対策が必要だと考えるが、その対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
6	町 俊 策	1 観光振興対策について	(1) 現在、NPO法人「与論島ウンパル学校」(代表、竹盛窪氏)のメンバーが民間の支援団体の助成金を活用し、「花と蝶の観光地づくり」を目的として活動している。この活動に呼応して情操教育、自然観察教育の一環として、各小中学校、高校、婦人会、老人クラブ等の花園にペンタスとハウライカガミの植栽協力をお願いし、オオゴマダラを繁殖させ、「蝶舞う観光地づくり」を推進する考えはないか。	町 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第2回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			<p>(2) 船倉の遊歩道の出口付近に設置されている公衆トイレが故障したまま放置されており、付近の民家のトイレを借用する観光客が増え、住人は困惑している。町に改修のお願いをしたが現在もその返答がないとのことであるが、どう対処する考えであるか。</p> <p>(3) 大金久の遊歩道は船倉まで開通し観光コースとなっているが、町道との接続地点には、景勝地である船倉海岸への誘導看板がない。また、按司根津栄神社の浜やどいの説明、鳩の湖の説明看板もない。風景と人の生活とのかかわり等の印象づけは大切な事と思うが、観光案内板等の設置についてどのように考えているか。</p> <p>(4) 供利港の待合所には、周辺の見学箇所への案内板が設置されておらず、見学箇所への誘導看板も不適切な場所に設置されている。観光地としてふさわしい看板の設置が必要だと思うが、どう対処する考えであるか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
		2 「観光地づくりモニター」の設置について	<p>(1) 本町に訪れる観光客は、老若男女さまざまである。受け入れる側も各々の客層への配慮は大切な事であると考え。シンクタンクに「観光地づくりモニター」を設置し、観光パンフレットの作成や島内設置の看板等について意見を聴取し、魅力ある観光地づくりに取り組む考えはないか。</p>	<p>町 長</p>
7	大 田 英 勝	1 町内の公営住宅事情について	<p>(1) 最近朝戸集落の児童・生徒が極端に減少し、地域で問題になっている。残念ながら朝戸集落には一般の公営住宅が1戸もなく、それも原因の一つではないかとの声が強くなっている。是非とも朝戸集落に住宅団地を建設してほしいが、検討する考えはないか。</p> <p>(2) 現在の教員住宅はいつ建設され、その住環境はどうなっているか。古い教員住宅は建て替えやリニューアルするなど、住環境を良くすることが優秀な教師を迎え入れることにもつながると思うが、検討する考えはないか。</p>	<p>町 長</p> <p>教 育 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第2回定例会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		2 お知らせカレンダーの発行について	(1) 以前、毎週発行していたお知らせカレンダーは、現在、月2回の発行となっている。発行回数が減り、一回分に掲載する情報量が増えた影響からか、字が小さく読みづらい時がある。情報が多い時は2枚仕立てにするなど、工夫・改善を図る考えはないか。	町 長
		3 大学入学共通テストの英語民間試験について	(1) 2020年度から行われる大学入学共通テストの英語民間試験は、県内全域に試験会場が設けられるのかが不透明で、受験生にとって、受験機会や経済的負担の公平性が確保できないのではないかと懸念の声が上がっていると聞く。少なくとも高校のある島には試験会場を設けるべきだと考えるが、教育長はどのように認識しているか。また、受験生に新たな負担が生じないように、早期に関係方面へ要請する考えはないか。	教 育 長